

このたび開設した「RisKma(水災害リスクマッピングシステム)」では、「水災害リスクアラートサービス」のコンテンツとして「内水リスクマップ」を準備したほか、「短時間ゲリラ豪雨予測システム」、「レーダー雨量」の2つも用意しています。これらのコンテンツのデータ提供につきましては、riskma@ctie.co.jp までお問い合わせください。



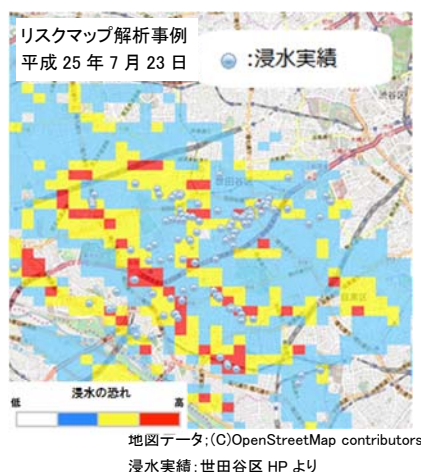
写真：「RisKma(水災害リスクマッピングシステム)」トップページ

○公表開始：2017年3月16日

○名称：「RisKma(水災害リスクマッピングシステム)」(商標登録出願中)

○URL：<http://www.riskma.net/>

■内水リスクマップ概要



◆内水リスクマップとは

「内水リスクマップ」とは、1時間以内程度の豪雨現象による内水浸水現象を対象に、気象庁高解像度降水ナウキャストおよび地形モデルを組み合わせ、内水浸水の発生の恐れがあるエリアを解析・予測しています。(※平成27年9月に発生した鬼怒川のはん濫のような河川からの越水は対象外です。)

◆モデル概要

国土地理院の標高データに基づき、全国土の地盤形状を詳細に解析し、250mメッシュ単位で浸水のしやすさをモデル化しています。その上で、下水道の排水能力や全国の内水浸水ハザードマップに記載された浸水実績、およびSNS情報による浸水実績等を、随時モデルに反映し、継続的に精度向上を行うシステムとなっています。